



吉川化成株式会社

人・企業・地球により添うプラスチックを。

News Release

2017 年 1 月 26 日

吉川化成、Y P プロコーナー A 発売

～輸出パレットに革命！～

スピード梱包、サイズ不問、燻蒸不要、軽量、リサイクル可能

吉川化成株式会社（吉川秀朗社長、大阪市鶴見区）は、強化ダンボールの四隅に取り付けることで重量貨物のスピード梱包が可能な「Y P プロコーナー A」を 3 月に発売します。

輸出用貨物を梱包する際に使用されるパレットには、木製やプラスチック製などの種類があります。ただ、パレットにはサイズの規格や制約もあるほか、パレット重量が重くなると、その分、貨物運賃も高くなります。また、木製パレットの場合は検疫上の問題から、燻蒸（くんじょう）という作業をする必要もあります。

当社は自社ブランド「Y P」を冠した製品の開発と製造・販売に 40 年以上の歴史があります。その一環として、梱包用資材の「Y P PROTAINER（プロテイナー）」シリーズの製造・販売を手がけています。

Y P プロテイナーは、上記のような輸出用貨物を梱包する際の課題を一気に解決する商品です。強化ダンボールの四隅に固定したプラスチック（ポリプロピレン）製の『ケタ』が貨物を支えます。2 段重ねも可能で、500kg もの荷物に耐えられます。エステルバンドを使用する固定のため、梱包の作業時間は大幅に短縮でき、軽量化や省スペース、リサイクル性にも優れています。

そして 3 月から、その Y P プロテイナーシリーズに「Y P プロコーナー A」を追加します。強化ダンボールは四隅が最も強度が高いという特性を利用して、コーナー部に荷重が掛かるように形状を変更しました。その結果、従来品ではダンボール角部に取り付けていた専用の部品が不要になりました。また、従来品はダンボールとの接着面に接着剤を塗布していましたが、両面テープで仮止めする方式に変更して作業性を向上。製品カラーも従来のオレンジから、強さをイメージする黒に変更しました。成形法の改善により製造コストも下がり、リサイクル性も高まりました。もちろん、フォークリフト等による荷役も可能です。

Y P プロコーナー A の価格は、従来品の Y P プロテイナーシリーズと比べて 3 割程度安価になりました。また、Y P プロテイナーシリーズは従来、パレットとして強化ダンボールを使用する輸出貨物の梱包事業者を中心に販売してきました。今後は、電機・電子部品メーカーや自動車部品メーカーなどの物流部門にも販路を広げて行きたいと考えています。



写真左： Y P プロコーナー A を装着する様子 写真右： Y P プロコーナーを使用した梱包

【吉川化成について】

プラスチック製品・部品メーカーとして1950年設立。資本金1億8,000万円。大手家電メーカーに協力して、国内で初めて電気洗濯機の洗濯槽を樹脂化した。

幅広い製品群を誇るエレクトロニクス分野、高度な加工技術が欠かせないオプト分野、環境に貢献する製品も多い自社商品分野、人々の健やかな暮らしに深く関わるメディカル・ヘルスケア分野という4つの事業分野でプラスチック製品の多様なニーズに対応する。

本社：大阪府鶴見区横堤5-6-34

URL：<http://www.ypc-g.com/>

生産拠点：大阪、奈良、東北、茨城、静岡、大分、マレーシア、タイ

《リリースに関する問い合わせ先》

吉川化成株式会社 商品カンパニー

〒538-0052

大阪府鶴見区横堤5-6-34

TEL：06-6914-2828

FAX：06-6914-2838

担当：古田、福田 (ypprotainer@ypc-g.com)